

第54回ペストコントロールフォーラム（ねずみ・衛生害虫駆除研究協議会）開催報告

全国環境衛生・廃棄物関係課長会、（一財）日本環境衛生センター、（公社）日本ペストコントロール協会の3者共催による第54回ペストコントロールフォーラムが2020年2月13日、14日の2日間にわたり福島県福島市の「コラッセふくしま」で開催された。

2日間の延べ参加者数は702名となり、大変盛況であった。今回は原発事故によるイノシシの増加など、近年問題となっている野生鳥獣に焦点を当て、1日目の特別講演と2日目のリレー講演が組まれた。その他、一昨年から昨年にかけて話題となったヒアリや感染症媒介蚊、豚コレラ（豚熱）、築地市場のネズミなどに対する取組み事例やその内容などについても焦点が当てられた。



開会式

2日間の演題および演者は、下記のとおりである。

1日目午前

特別講演：野生生物と高リスク社会

福島県 生活環境部 自然保護課 野生動物調査専門官 溝口 俊夫

1日目午後

講演：環境の変化と感染症－歴史的な動向と将来－

（一財）日本環境衛生センター 理事長 南川 秀樹

セッション1：害虫・獣に対する地域対応

- ・福島県ペストコントロール協会における東日本大震災以降の取組み

（一社）福島県ペストコントロール協会 会長 吾妻 学

- ・避難指示区域におけるネズミ対応マニュアルの作成等について

福島県保健福祉部食品生活衛生課 主査 遠藤 智一

- ・福島市保健所の現状とその取組み

福島市保健所 衛生課 生活衛生係 技師 渡部 想乃子

セッション2：トピック・調査報告等（講演）

- ・ヒアリをはじめとした侵略的外来種対策

環境省 自然環境局 野生生物課 外来生物対策室 室長 北橋 義明

- ・水際における蚊媒介感染症の現状と今後の対策

厚生労働省 東京検疫所 検疫衛生課 食品衛生専門官 長谷山 路夫

- ・築地市場の閉場に伴うネズミ防除

イカリ消毒株式会社 取締役（ねずみ駆除協議会委員長） 谷川 力

- ・2020オリ・パラリンピック開催に向けてのデング熱媒介蚊駆除訓練

国立感染症研究所 昆虫医科学部 部長 葛西 真治

- ・埼玉県ペストコントロール協会における豚コレラ対応

（一社）埼玉県ペストコントロール協会 副会長 大場 修一

2日目午前

リレー講演：身近な野生鳥獣害を考える

- ・野生動物問題から考える One Health

麻布大学 獣医学部 動物応用科学科 野生動物学研究室 准教授 塚田 英晴

- ・ハクビシン（アライグマ含む）への防除対応

株式会社 明誠 代表取締役 佐藤 司

- ・ハト・コウモリの生態と被害

株式会社 三共消毒 技術部 技術課 課長 森 義行

- ・賢いカラスとどう向き合うか

東都大学教授・宇都宮大学名誉教授 杉田 昭栄

フォーラム1日目の開会式では、福島県保健福祉部長、福島市長のご挨拶などをいただいた。開会式に続く特別講演「野生生物と高リスク社会」では、原発事故の被災地をはじめとして、現在全国的に問題になっているイノシシを中心とした行動や、人身事故発生メカニズム、行動に基づく対策上の注意点、野生動物管理における種々の問題、さらには野生動物や野生動物由来の感染症などについて、長年野生動物の保護や管理に携わってこられた獣医師の立場から言及、問題提起がなされた。人間社会と同じように野生動物の世界も高リスク社会であるという発信が印象的であった。



講演の様子

「環境の変化と感染症」では、感染症対応の歴史や気候変動による廃棄物や衛生動物問題などについて取り上げられたが、新興感染症の関連では、急遽、発生後間もない新型肺炎に関する話題が組み込まれ、SARS や MERS などとの比較に基づいた紹介も行われた。

地域対応のセッションでは、福島県、福島市および（一社）福島県ペストコントロール協会の地域での取組みについての講演があった。福島県からは、原発事故被災地において大量発生したネズミに対する調査や対応マニュアルの作成に向けた取組みについて、福島市からは、衛生害虫等に対する対応内容、特定建築物でのねずみ等の防除に関する指導事例、市民に対する衛生教育事業の開催状況やその啓発内容、最新情報としては、台風19号による水害での消毒業務等の内容や業務推進上の問題点などが報告された。また、福島県ペストコントロール協会からは、東日本大震災に係る調査や殺虫作業、台風19号の水害に係る消毒対応事例などの報告があった。

トピック・調査報告のセッションでは、最新情報等に関する報告があり、環境省におけるヒアリやセアカゴケグモ、マングース、アライグマなどの特定外来生物に対する取組み状況の紹介や対応についての今後の方向性などが示された。検疫所の活動報告では、水際対応が求められる検疫所業務について、検疫法に基づく調査内容やその結果、東京2020オリンピック・パラリンピック競技会に向けた取組みなどに関する報告があった。築地市場閉場にかかるネズミ防除に関する報告では、困難が予想された防除に対する取組み内容や、実際に行われた防除の状況やその結果についての報告があった。続くデング熱媒介蚊防除訓練に関する報告では、国、自治会、防除関連業界の連携について、実地演習に基づく実施内容やその結果、昨年のデング熱の国内発生事例などに関する報告があり、防除体制や態勢構築の必要性が示された。また、各地のペストコントロール協会で対応を行っている豚コレラ（豚熱）対応事例報告では、現在でも対応が続いている埼玉県の状態について、埼玉県ペストコントロール協会から車両消毒を中心とした実施内容等の報告があり、実施態勢や業務遂行上の注意・問題点が示された。

フォーラム2日目には、近年問題が大きくなりつつある身近な野生鳥獣害についてリレー講演が行われ、キタキツネやシカなどによる健康被害や環境被害事例などに基づくOne Health の考え方や関連する問題提起がなされた。ハクビシンやアライグマ、ハトやコウモリの防除に関する講演では、実際の防除に長年携わってきた演者からそれらの生態・習性や様々な現場での防除対応などに関して多くの現場写真を交えた紹介があり、実際の現場での対応に役立つ情報が示された。都市部のごみステーションや農村部でしばしば問題となるカラスに関しては、カラス博士として著名な演者から、被害状況や興味深い生理・生態・習性などについての紹介があり、それらに基づく対策法が示された。



閉会式

いずれも大変興味深い講演内容で、様々な害虫獣の生態・習性やその対策、害虫獣に対する各所での種々の取組みや最新の情報など、大変参考になり、多くの参加者からお褒めの言葉をいただくことができた。来年度のフォーラムは、2021年2月18日（木）～19日（金）に長野県長野市のホテルメトロポリタン長野で開催される予定である。

お忙しい中ご講演いただきました講師の皆さま、ご参集いただき熱心に聴講いただきました参加者の皆さま、そして準備段階から当日の受付や会場運営まで全面的にご協力いただきました一般社団法人福島県ペストコントロール協会の吾妻学会長をはじめ、協会の皆さま、ご後援いただきました厚生労働省、環境省、福島県、福島市、福島県保健所長会、ご協賛いただきました日本防疫殺虫剤協会、日本家庭用殺虫剤工業会並びにねずみ駆除協議会の各団体に厚く御礼申し上げます。